



日本家政学会第77回大会に参加しました！

令和7年6月1日横浜国立大学で開催された日本家政学会第77回大会に、高校生としては唯一横須賀高校の2年生1グループが参加しました。日本家政学会とは、家政学に関する研究と進歩と発展を図り、人間生活の充実と向上に寄与する目的で、1949年に設立された学術団体です。参加した生徒と研究タイトル、内容は以下のとおりです。

【研究タイトル】

「寒さを忘れるホカホカ手袋をさがそう」

【研究内容】

冬季の防寒用に使用される手袋3種を用いた被験者実験により温熱的な快適性に手袋の素材が及ぼす影響を検討した

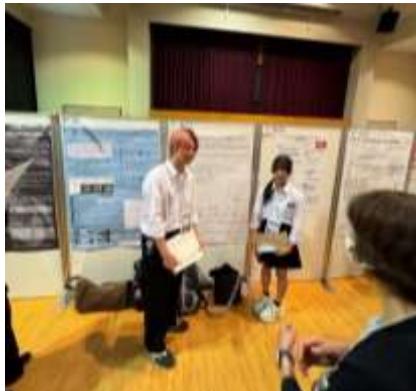
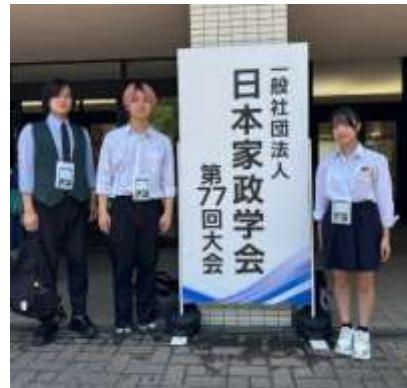
【発表メンバー】

2年4組 丸山 剛輝さん、2年6組 小泉 津奈さん

Q:会場の様子

A:いろんなところで発表しているのを見て、質問したりする。この基本の流れは変わらなかつたのでまるでPrincipiaのポスターセッションのようでした。しかし、Principiaのポスターセッションと違って発表者が大学生や会社の方などが全国から集まって発表していて専門性や体験のようなものもできました。実際私もコオロギ食を体験させていただきました。質問には大学関係者様たちのほかに小学校の教師をしている方なども来ていて自分たちのような高校生で発表をしている人は見かけませんでした。そのためいろんな人から注目されて緊張がすごかったです。

2年4組 丸山 剛輝



Q:興味を持った他校の発表

A:家政学会では大学生や大人の発表がほとんどであったため、多くの発表に惹きつけられました。その中でも私が興味をもったのは、鶏唐揚げのおいしさを定量化するというものです。揚げたての鶏唐揚げを長時間保存し、含水率の測定、官能評価により定量化するという研究です。結果として揚げたての状態ほどジューシーだとわかるのですが、保存環境によって含水率が官能評価と関連性があるとは限らないというものが気になりました。また、おいしさという概念的なものを数値化するという点が興味深いと感じました。

2年6組 小泉 津奈

✿マレーシアから視察団が来校しました✿

令和7年6月2日、マレーシア国ジョホールバル州の校長、教員、生徒の計14名が来校され、日本の高校においてどんな科目があるのか、毎日のHRはどのようなものか、清掃はどのように行っているかなどの視察に来校されました。今回、来校された学校の1つのマレーシアのスルタン・イスマイル中高一貫校は7月に訪問する交流校になります。昼食は一緒に天ぷらそば、うどんを食べたりと、訪問前にも職員同士で交流を深めることができました。今回記念品として、タペストリーをいただきました。職員室前に飾っていますので、ぜひご覧ください！

